



納税への長年の協力に感謝

退任納税貯蓄組合長に感謝状贈呈



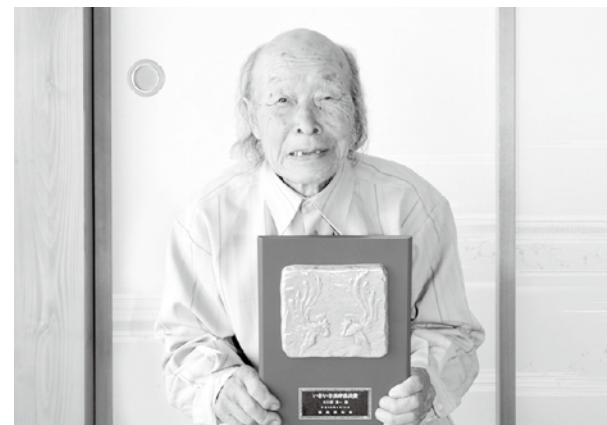
感謝状を受ける阿部敏夫さん(中央)

町納税貯蓄組合永年在職(退職)者に対する表彰式は4月15日、町役場正庁で開催されました。表彰は、町納税貯蓄組合長大会の席上で執り行われ、長年組合長を務め退任された皆さんに、津金町長から感謝状とお礼の言葉が贈られました。

表彰を受けた皆さんは次のとおりです(敬称略 ()内は納税貯蓄組合名)。阿部敏夫(新町ろ第1)、中村昭司(新町ろ第3)、小坂橋言子(見祢)、菅沼道夫(六角)、日下部洋一(田子沼)、古川一吉(都沢第1)、吉野文夫(関脇第3)、六角江利(金曲第1)、山本丈彦(水沢)、佐藤一(伯父ヶ倉第1)、林部悦夫(大原第2)

輝く笑顔のお二人に県民賞

第14回いきいき長寿県民賞を受賞



「私はまだ88歳、100歳まで生きて唄い続けたい」と笑顔を見せた大川原さん

昨年、第14回いきいき長寿県民賞を受賞した大川原一さん(上戸)と高梨徳美さん(川桁)。現在もいきいきと活動が続けるお二人に話を聞きました。

大川原さんは大正12年1月4日生まれの88歳。猪苗代三番叟保存会の初代会長を務め、町内外のイベントや慰問など活動で、猪苗代に伝わる三番叟(目出度、松坂、ショーネ節)を唄い継いで来ました。現在は同会の相談役を務めていますが、第一線での活躍は相変わらず。特にお囃子の絶妙な節回しは、右に出るものがないと言われています。

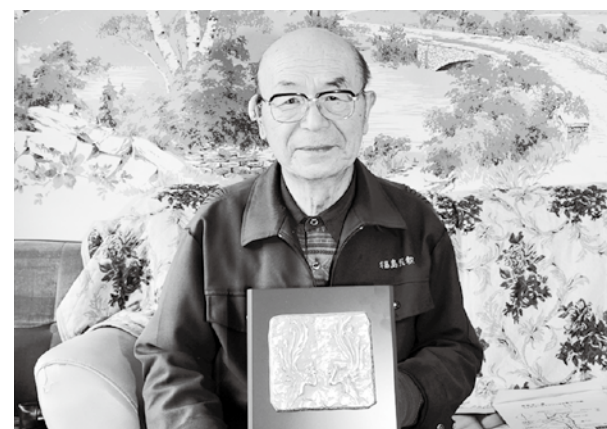
今回の受賞の感想を「とてもうれしく思っています。こういうのが私の励み。これからも元気で、100歳まで唄い続けたい」と笑顔で話しました。

高梨徳美さんは大正13年6月9日生まれの86歳。県自転車軽自動車商工協同組合の理事などを務め、現在も同組合猪苗代支部長、県サイクリング協会指導員、猪苗代防犯協会理事として活躍中です。川桁地区の要職なども歴任し、その役職は数え上げればきりがありません。

さまざまな人に頼られ、長年いろいろな役職を引き受けてきた高梨さん。「頼るより、頼られる人間になりたいと思って生きてきた。人の役に立つことは私の生きがいです。そのせいか在職期間が長くなってしまう」と笑います。

お二人の今後ますますのご活躍を期待します。

※いきいき長寿県民賞は、いきいきと年齢を感じさせない生き方をしている高齢者や積極的に社会参加活動をしている高齢者団体などの活動を紹介し表彰する、県と県社会福祉協議会の事業です。



「これからも皆さんのお役に立ちたい」と笑顔で抱負を語った高梨さん

昭和初期の嫁入り行列再び

「おシンさんの嫁入り」6月に決定



会員を前にあいさつする本間会長

おシンさんの嫁入り保存会(本間昌儀会長 会員97人)の平成22年度総会は4月18日、学びいなかで開催され、同会の会員約50人が出席しました。

議事に先立ち、本間会長が「避難者の人に、福島元気な姿を全国に発信してくださいと言われた。できることを一生懸命にやることが、復興につながるのではないか」とあいさつ。

活動経過の報告や決算の承認などの後、事業計画について話し合い、6月11日(土)の開催や配役などが決定しました。

コースや予定時間など、詳しくは学びの泉をご覧ください。

霜の被害から農作物を守る

町農林課内に防霜対策本部を設置



看板を設置する一ノ瀬統括支店長(右)と津金町長(左)

農作物を霜の被害から守るため、対策技術の指導や防災無線による霜注意報の提供などをする町防霜対策本部が4月18日、町役場農林課に設置されました。

役場正面玄関で執り行われた設置式では、津金町長が「放射能の影響なども心配されているが、現在のところ本町の農作物は大丈夫。収穫を楽しみにしている」とあいさつ。一ノ瀬正義「JAあいつ猪苗代地区統括支店長と一緒に看板を掲げて対策本部の設置をPRしました。対策本部の設置期間は5月末までの43日間となっています。」

児童たちの学校生活を応援

かあちゃん茶屋のメンバーが寄付



寄付を手渡すかあちゃん茶屋の皆さん(右)

四ツ谷地区のお母さんたちで組織する四ツ谷かあちゃん茶屋(渡部百合子代表)のメンバーらは4月11日、猪苗代小学校を訪れ、子どもたちのためにと10万円を寄付しました。この浄財は、地域の子どものためにと出店した磐梯まつりでの売上金を5年間ためたもの。渡部代表は「不自由な避難生活を送りながらも元気に学校に通う子どもたちに、不足しているものがあれば使ってほしい」と話し、町校長会会長の久米本哲夫校長に寄付を手渡しました。久米本校長は「ありがとうございます。各校と相談して有効に使わせていただきます」とお礼を述べました。